

平成30年度親和自治会第四回映画サロン （「昼下がりの情事」）

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成30年10月21日

パリを舞台にしたロマンチックコメディ映画で、クロード・アネの小説「アリアーヌ」を原作して、又「魅惑のワルツ」が主題曲として使用されている。

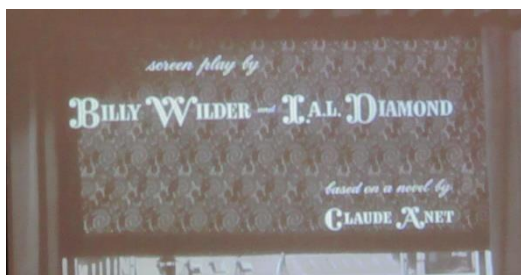
音楽院でチェロの勉強をしているアリアーヌは私立探偵である父親の仕事に興味津々。素行調査に登場する億万長者のプレイボーイ；アフガンの存在が気に入り、一計を案じ彼との出会いが成功するが、数々の男を手玉にとった遊び人を装ってしまう。「麗しのサブリナ」について2度目のワイルダー作品となるがオードリー・ヘップバーンが背伸びした純情な娘を好演している映画です。

映画の内容の説明は「シネマクラブ HIBARI」代表の秩父様にして戴きました。

秩父様

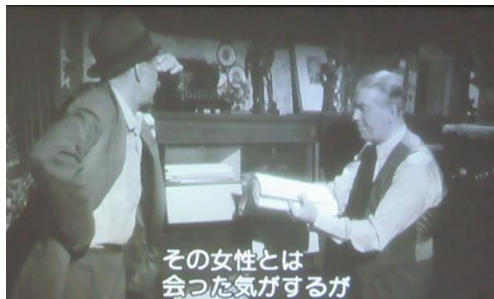


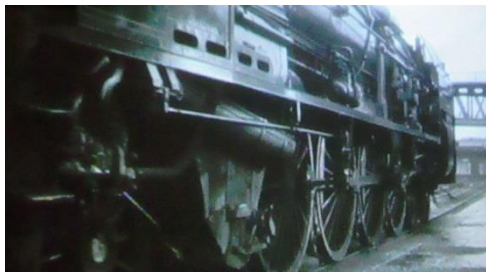
参加の皆様











親和自治会；木下様
次回映画会の案内



親和映画サロン

『 昼 下 り の 情 事 』



10月21日(日)14:00～ お茶代 200円

於:向原市民センター 第3集会室

ビリー・ワイルダー 監督 1957 年作品 米 上映時間 134 分
出演 ゲイリー・クーパー オードリー・ヘップバーン モーリス・シュヴァリエ

パリを舞台にしたロマンチックコメディ映画で、クロード・アネの小説『アリアーヌ』を原作としている。また「魅惑のワルツ」が主題曲として使用されている。
音楽院でチェロの勉強をしているアリアーヌは、私立探偵である父親の仕事に興味津々。
素行調査に登場する億万長者のプレイボーイ、フラナガンが存在が気になってしょうがない。
一計を案じ、彼との出会いに成功するが、数々の男を手玉に取った遊び人を装ってしまう。
『麗しのサブリナ』に次いで2度目のワイルダー作品となるオードリー・ヘップバーンが、背伸びした純情な娘を好演している。

問合せ：親和自治会7組 木下 清 TEL 090-2656-2343